

～「R2 JAなのはな米品質向上運動」実施中～ なのはな米1等比率95%以上！！

水稻の生育は、田植え以降好天に恵まれ、平年をやや上回っています。
各ほ場の生育状況を確認し、水管理を中心に栽培管理を適切に行いましょう。

水稻の生育状況

《平年比較》

草丈：やや長い、茎数：やや多い、葉齢：やや早い、葉色：平年並み

コシヒカリの生育調査結果

なのはな農協管内生育基礎ほ（8カ所）6月15日調査

	田植日	草丈	株当り茎数	m ² 当り茎数	葉齢	葉色
R2平均	5月11日	42.9cm	22.7本	435本	9.6	4.3
平年	5月11日	38.1 cm	21.3本	402本	9.0	4.3

※平年 平成22～令和元年の平均値

1 中干し後の水管理

- 中干し後は、「間断かん水」を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm沈む程度のかたさに仕上げましょう。
- 生育量が多い場合は、過剰籾数や倒伏を防ぐため、強めに田干し（落水期間を長く）しましょう。

2 てんたかくの穂肥

生育は、平年より早まっています。遅れずに施用しましょう。

○てんたかくの穂肥の施用時期及び施用量の目安(※)

穂肥	施用時期	肥料名	10a 当り施用量
1回目	6/24～6/26 頃 (幼穂長 1～2mm 頃)	追肥 3号	10～12kg
2回目	1回目の 10 日後	追肥 3号	12～13kg

※ 5月連休田植え・分施体系の場合

不明な点は、営農指導員や普及指導員にご相談ください。

3 草刈りの徹底

- 畦畔等の雑草の穂は、カメムシ類の好適なエサとなるので、**穂が出ないように草刈りを徹底**し、カメムシ類の発生量を少なくしましょう。
- 本田内のノビエやホタルイは、アカスジカスミカメの産卵場所となりますので、除草に努めましょう。
- 麦跡ほ場は、積極的に大豆、園芸作物、緑肥等を栽培し、雑草が繁茂しないよう管理しましょう。また、作付けしないほ場では、早めに耕起をしましょう。
- 草刈運動期間中に草刈りを実施し、地域全体でカメムシ類の発生源を減らしましょう。

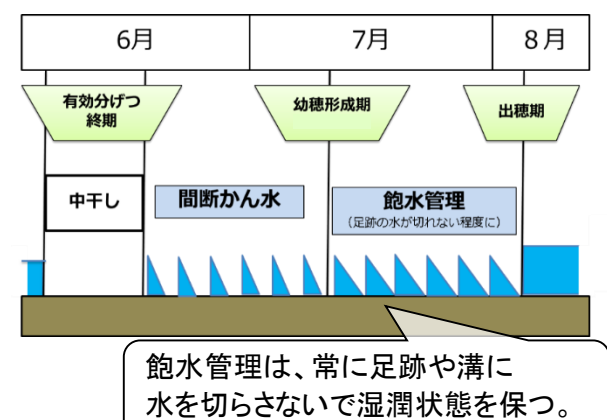
水田畦畔等の草刈り運動実施期間：7月1日～10日

＜一斉草刈日：7月4日(土)～5日(日)＞

＜草刈りの際は以下に注意＞

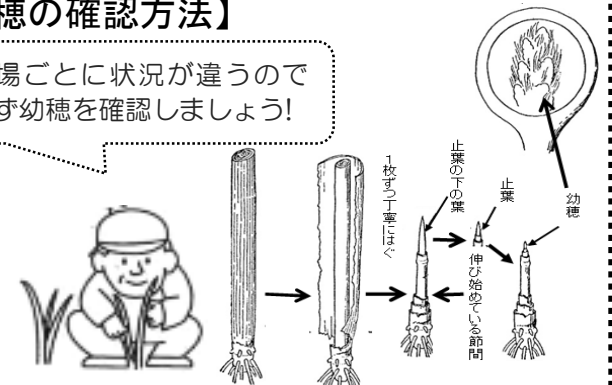
- ★ 刈った草は、用排水路に流したり燃やしたりしないでください。また、草刈りで道路を汚したら、すみやかに片付けましょう。
- ★ 草刈機によるケガに十分注意し、草刈中、近くを人や車が通過する時は、小石等が飛散しないよう注意しましょう。

【水管理のイメージ(コシヒカリ)】



【幼穂の確認方法】

ほ場ごとに状況が違うので必ず幼穂を確認しましょう!



【斑点米と主な斑点米カメムシ類】



斑点米

目安として、**玄米 1000 粒に 2粒混じると 2等米に格下げ!!**

＜主な斑点米カメムシ類＞



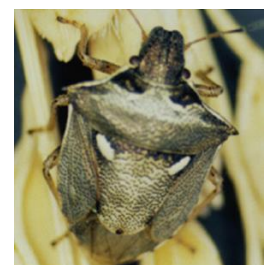
アキゲ ホリミド リカスカメ



アカスジ カスミカメ



クモリカメムシ



トゲ シラホカメムシ